

## 授業の感想 4月2日 平安美人①

この素敵な笑顔(?)を見ながら、平安時代の貴族の「衣・食・住」を語れるようになるのは、  
 点在した知識の量ではなく、  
 つながった知識から導かれた全体像、そこをもとにした関連づけられた知識です。

前者は、「なぜ?」のない力づくの量で、  
 後者は、「なぜ?」を土台にした柔らかな質です。  
 社会科の授業は、どちらがよいですか?



清少納言さんだって

平安時代やせいよの排便の仕方は、興味があったので、知識があったところもありますが、**スクリーンや発問の投げ方で楽しさが増したりする**んだなと思いました。また、ニオイを消すために香水が発達したり、こういうところで歴史を学ぶ楽しさを教えてあげられるんだなと思いました。また、ウンコの話がウケるなど、子どもたちのツボを知っておくことも大事だと思いました。

笑いを導くネタは、子どもの笑顔を導きます。  
 笑顔は、安心を つまりは、間違いを恐れない心の余裕を生みます。  
 (ちょっぴりお下品な内容がうけます!)

高校までには習わなかった社会の内容で、興味持って授業を受けることができました。平安時代の美人の基準は、今では嫌われるなと思いました。色白は今も美人の基準ですが、昔みたいに暗い所で目立つからではないので、平安の人の美人の基準はおもしろいなと思いました。十二単は、色を重ねて美しいからあんなにたくさん着ているのだと思っていましたが、外と家の中をさえぎるものがないため**寒いという理由**でたくさんの着物を着ていたのだと知って驚きました。トイレの話は、今はあたり前にあるものなので、昔はどうしていたか考えたことがなかったのですが、昔のトイレの話聞いて、今の時代に生まれてよかったと思いました。今まで習ってきた歴史は、トイレという視点から見てみるとうまくつながって驚きました。子どもは、教科書の流れを覚えるよりも、この授業のようなことを知った方が記憶に残りやすいし、覚えやすいのかなと思いました。



歴史には、いろんな秘密があって、おもしろいですよ。  
 トイレから歴史を捉え直すことも、いろんなことが見えてきておもしろいです。私の密かな研究テーマです。

社会の授業は、私は割と嫌いでした。日本の歴史を暗記しろ、地理を暗記しろと、とにかく暗記を強いられました。小6の時は、それにあらがって好きな歴史の人物1人について書籍やインターネットを使って調べ、それを新聞にして家庭学習として提出していた時期がありました。が、それでも担任の先生は暗記を強いるだけでした。悲しかったことは、あまりに**反応**が薄かったことでしょうか。

なので、今回の授業で時代の背景を取り上げていて、とても面白かったです。

この事実を覚えなさいと教えるよりも、  
 笑いながら、【その事実の背景に隠された理由】を捉えて、いつの間にか覚えていた  
 そういう方がいいですね。  
 教師には、子どもの学びを生かして授業をつくっていく視点が大切です。

今回、社会の復習をしました。  
 常識な問題も出ましたが、覚えている事が曖昧でした。  
 小学校教諭を目指す上で曖昧はいけないと思いました。  
 また、**年間指導計画案**の1~6年生までみると、1年生は学校内、2年生は学校外、3年生市、4年生は県、5年生は日本、6年生は世界、歴史、

政治について学ぶ内容を1つ1つ見ると、学ぶものが多くて充実している と思いました。それに、低学年だと外に出て実際に勉強し、高学年になると分野が変わるので興味がふかまると思いました。

6年間の学習内容のつながりを捉えながら、地域の特色を生かして、子どもの姿を受けて、授業を構成していくことができるのは、楽しいですよ。

※ 曖昧と分かった瞬間は、曖昧から抜けています。本当に困る曖昧とは、それが曖昧だとは気づいていない時に起こっています。

私は、昔から社会というものが大嫌いでした。まさに今回の授業で先生がおっしゃっていた通りの子どもでした。たしかに歴史の流れを考えようとは、あまり思っていませんでした。小学生の頃から社会に興味湧くような授業構成になっているのには驚きました。それでも、私のように社会が苦手な生徒が多いということは、**教師の教え方に工夫が必要なのだ**と考えさせられました。**疑問を持たせて、興味を湧かせ、自分で考え、調べられるようにする**。生徒に「今日は何を学ぶのだろう」と楽しんで授業を受けてもらえるようになりたいです。ちなみに、平安時代のモテる女性の話は、とても面白かったです。次からの授業が楽しみです。

「問い」→「答え」をセットにして、

**疑問を持たせて、興味を湧かせ、自分で考え、調べられるようにする。**

ことをしないと、

事実を覚えるだけの社会科（他教科も同じです）になってしまいます。

これでは、おもしろくありませんよね。

今日の授業は、とても興味がわいて、なぜそうなるのだろうと初めて社会の授業で考えました。なぜそうなるのか、自分で考えてから答えを知るととても記憶に残ることを実感しました。又、答えを教えてもらわなくても、なぜそうなるのか疑問を持つことによって、自ら調べようとする自主学習へも発展することが分かりました。

ただ単に知識を与えるだけではなく、**知識を得るまでの過程の中で、疑問を持つか持たないかだけの違いで、ここまで記憶に差がでる**ということは、先生の教え方は本当に大切なんだと改めて思いました。疑問を持てば誰しもが答えを考えるとと思うけれど、**その答えよりも理由を考えさせる方が大切なのかな**と思いました。なぜ、この年にこれが起きたのか。このような背景を考えると、歴史はもう少し楽しく学べるのかなと思いました。

今も昔も日本は他国よりも衛生的で文化が発展していたことを改めて知

って、日本人ってすごいなと思いました。しかし、他国は今でいう傘やヒールなどを生み出したりしいたので、用途が糞や尿をよけるためだったとしても、その考えがすごいなと思いました。平安美人について知らないことだらけでしたが、この授業で知ったことは、私自身が教師になったときに生徒たちへ教えられることなので、いかしたいと思います。

知識は、考える過程において、活用することによって、その意味と共に理解していくものです。結果（答え）だけを切り取りして、コピー的に覚え込むモノではありません。

正確には、理解の仕方は、みんな違うのです。分かり方は、それぞれの成長の違いと同じように、個性的で多様です。

疑問を持たせる授業として「美人について」考えた。まず、平安時代の暮らしについて、寝殿造は「暗い←→明るい」や、「いい香り←→くさい」などの二択を出して予想をたてさせた。言葉ででき出すよりも、二択の方が子どもたちが予想しやすく、また全員が楽しんで参加できた。

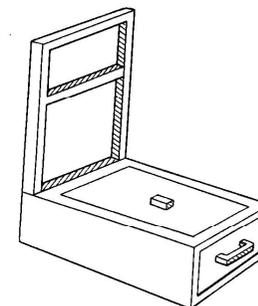
平安時代の暮らしと平安時代における美人の定義は、一見関係性がないように見えて、説明されるうちに知識がつながっていき、もっと知りたいという気持ちになった。また、そこから世界の話につなげることで、さらに知識が広がり、ますます興味がひかれる授業だった。

クイズ形式にし、予想させると同時に楽しませることで発言しやすい環境をつくることで、全員参加型の興味のわく授業になったと思う。

一見脈絡のない2つの知識は、つながってこそ、それぞれの「知の意味」が理解されていきます。一方向からは、覚えるだけの対象にしかありません。

知識の広がり導き出す興味に気づけたのは、そうやって学ぶおもしろさを知っているからです。

私は、授業は、そうした世界の楽しさを実感させることだと思っています。



授業の感想 4月21日 平安美人②



紫式部さん、上品なイメージを壊してしまって、すみませんでした。  
でも、ベルサイユ宮殿の方が……………  
だから、……………ねえ！

疑問をもち考えながらの授業は、答えを自分で見つけ、理解することは、頭の中によく入りやすく、無理に覚えるよりも頭に残っていきやすいと感じました。

自分で考えたという過程が強い印象が残るのだと思います。

忘れ物をした子への対応もたくさん考えられましたが、クラスの子どもたち皆が何かを学べるような対応をしてあげ、少しでも成長をさせられるようにしたいです。

普段の日常から子どもをしかるのではなく、いかにしからずに忘れ物をしなくさせるのか、悪いことをやめさせるのか工夫しなければならないと思いました。

平安時代の人々の生活は、予想以上に汚いものだったので、見ためだけでは分からない事が歴史の中には多くあると思いました。

そういった、テスト、教科書にないことを学び、それから興味を持ち、勉強していってこれれば良いと思います。

普段の日常から子どもをしかるのではなく、いかにしからずに忘れ物をしなくさせるのか、悪いことをやめさせるのか工夫しなければならないと思いました。……………その通りです。

しからなくてもいいような指導をしっかりしているからしかる必要がないということと

しかることが良くないから、しからない

というのは、行為は同じでも意味は違います。

まず、しからなければならない行為をさせてしまった自分を責めることです。

ここ最近まで情報をただ暗記する授業ばかり受けた記憶しか無かったので忘れてしまいましたが、自らの感覚を伴い、かつ、聞き手の知りたいという意欲をひき出すことで、聞いたり・見たりしている情報は、簡単に知識として定着することを身をもって感じました。

あと、習慣というものは、時に命をも失うこともあり得るということも分かりました。日本で平安時代なら貴族は頻りに体を洗えない為、皮膚病で死ぬというのを聞いて思い出したのが、西アフリカでのエボラ感染者増加の1つであったリベリアの遺体の埋葬、森林の野生動物を食べる習慣でした。現在は病気のメカニズムや予防法が大体分かっているから良いですが、習慣や風習にしばられて死んでいった人もいるのだなとしみじみ思いました。

今回の授業を受けて一番強く思ったのは、指導要領に載っていることをいかに興味を持ってもらうために今のうちに様々なところに目を向け、教養をできるだけ身に付けることが大切のかなと私は思いました。

平安美人にエボラ感染者の習慣や風習とつなげて考えられるなんて、さすがです。驚きました。すごいです。

自らの感覚を伴い……………自分の生活体験や学んできたことをもとに

つまり、聞く側は、一方的に受け手にまわる、ということではなく聞き手の知りたいという意欲をひき出す……………相手の興味・関心を引き出す

教える側は、相手の反応を受け取りながら

こういうことに気づける学生を前に授業ができることをうれしく思います！

今回の小学校社会では、昔の美人についての話をしていましたが、とても楽しく聞くことができました。沼澤先生の講義は、毎回子ども達に考えさせるような講義で、子ども達もとても頭に残ると思いました。また、教科書にならって復習みたいに授業をしましたが、教科書に書いていない事実の話もあり、子どもにとってとても印象に残ると思いました。

私達が子ども達に教える立場になったときに教えることも大切ですが、子ども達にどのように教えるのが大切になってきます。そのためにも、子ども達に問をかけるような授業にすると、子ども達も進んで授業に参加してくれると思います。私もそのような授業にしていきたいです。

「何」を教えるか、と内容ばかりに目がいきがちですが、「どのように」教えるか、とその方法についてしっかり目を向けている人は少ないです。

低学年の子どもたちには、特に、「どのように」が大切になってきます。

今日は、平安美人についてのパワーポイントを見ました。最初になんて平安美人についてやるのか不思議に思っていました。しかし、平安美人について詳しく知っていくと、平安時代の貴族の暮らしが見えてきました。

今回の授業では、普通の教科書には載っていない豆知識のような内容から進み、クイズ形式で歴史を学んでいたり、一見ただの雑談なのかなと思って聞いていましたが、最後の最後で、すべての話がつながるように構成されていることに驚きました。そして、パワーポイントを見ながらクイズに答えていくので、飽きることなく話を聞くことができました。

授業に参加しているということを実感できるような授業であれば、今回のように楽しく話を聞くことができるのかなと思いました。そして、普段の私達が知らないようなところから歴史について見ているんだなと思いました。教科書に載っていない内容から教科書の内容に話をつなげることは、かなり1つの内容について調べないとできないことだと思いました。そして、今回の授業で、自分が小学生の時に先生がこのようなおもしろい授業をつくっていたら、もっと楽しく社会について学ぶことができたろうなと思いました。自分も教える子どもに飽きずに楽しく授業を受けてもらいたいので、自分から様々なことを調べたり、これからの小学校社会の授業の中から良い所を自分のものに吸収していきたいと思いました。

授業を全体構成から捉えることができるのは、全体を捉える力（メタ認知）があるからです。すごいことです。

教科書に載っていない内容から教科書の内容に話をつなげることは、かなり1つの内容について調べないとできないことだと思いました。

そうですね。（よほどトイレが好きでないと……いえ！）

調べていくと、いろんなことが見えてきます。平安美人とベルサイユ宮殿が〇〇〇でつながることに気づいたときは、最高の気分でしたよ。

教師がある教材を詳しく調べていくことを「教材研究」と言います。そうした中から見つけ出した新しい教材を「教材開発」と言います。教師は、授業場面以外に、これらのことをしっかり行っています。楽しいですよ。

## 平安時代に 美しいと言われた人

### 3つの条件

- ① 色白
- ② 顔が大きい
- ③ 髪が長い

## 貴族は長生き？

夏は、水浴や水ふきをするが、冬はしません。病気のとき「水蒸気浴」(これを風呂といいます)に入るくらいです。ですから、肌はよごれてくさかったようです。

それで、「香」をたいてにおいを消そうとしました。風邪でもひくと、生ニンニクをかじるので、ますますくさかったようです。

### 平均寿命

男 32歳  
女 27歳

これだけ肌がよごれているから、皮膚病による死亡率が10%もあったのです。

庶民は、全身浴をつねとしていたから、貧しくとも健康でした。

細文人の平均寿命は、**31.2**歳でした。

## 貴族の食事のメニュー

四つ足の動物は食べてはいけなかった。にわとりは、食べません。  
□2食。 □回に蒸した米を2合5勺も食べる。

栄養不足

消化不良

動物性のタンパク質の食べ物は、ほとんど魚や貝の干物  
イカは、スルメ アワビも、干したもの

運動不足

平安時代の貴族の死因は  
肺結核 55%  
かっけ 20%  
皮膚病 10%

栄養失調系の病気

好き嫌いしないで  
いっぱい食べられて  
いっぱい運動して  
おふろに入って

大きな口で笑えるのって  
幸せですね。

